

プラスワンメールマガジン

第8号 平成22年3月25日

皆さんこんにちは！年度でいえば最後の3月も終わりにさしかかりますが、いかがお過ごしでしょうか。

今年度を振り返ってみると、この『プラスワンメールマガジン』を創刊し、先月ご紹介した『プラスワンサマープロジェクト（サマプロ）』など“プラスワン活動”の意味と意義について皆さまへどれくらいお伝えできただろうか、少しでも皆さんの心の中に残り、たくさんの方々に広がっていけばCSOの皆さんもどんなに喜ばれるだろうかと考えてきました。

どんなに頭でわかっている、ほんの少し踏み出して実践する一歩（勇気や気づき）にはかなわないような気がします。そして、それが自分の生き方や人生をより良くしていくものだと思います。

新しい年度に向けて私も皆さんも新たな一歩を踏み出しましょう！

プラスワン活動を通して人生の大切な時間を自分自身と、そして周りの人たちと笑って過ごせていけたらいいですね。

- 第 8 号
- も く じ
- 【1】プラスワンコラム！～山口さんの巻～
 - 【2】なるほどボランティア！～プルタブから車いすへ！～
 - 【3】プラスワン体験記！～まちの鎮守の森 なかよしえんの巻～
 - 【4】プラスワン活動拠点のご紹介！～唐津エリアの巻～
 - 【5】プラスワン@インフォメーション

- 【1】プラスワンコラム！～プラスワン運動に携わる思い～
『佐賀の若者の人工妊娠中絶と性感染症を減らしたい！』
NPO法人ウイメンズサポートネットワーク 山口 日出子



ウイメンズサポートネットワークは、若者が性について正しい知識を持ち、自分も相手も大切に、幸せな未来を自分自身で選んでほしいと願い、医師・看護職・養護教諭・大学生等が集まって平成16年に設立しました。

目玉は、若者が女性産婦人科医師やピアカウンセラー（医学生・看護学生のボランティア）に本音で性や恋愛の相談ができるオープンスペース“ユートピア（YouとPeer）”の開設でした。これまで場所をいろいろと変えてやってみましたが、このもくろみはあまりうまくいかず若者へのアピールの難しさを痛感しました。現在は、待つばかりではなく、大学祭や教室活動への参加に比重をおいています。

これまで6年間の活動で思い出深いのは、ピアカウンセラーとの交流です。講演会で堂々と発言する姿、後輩に思いを伝える笑顔、性や恋愛の相談メールに本当に一生懸命に返事を考える表情等々……。このすばらしい学生達は、それぞれに医師や看護師として巣立っていきました。

現在も、公開講座、思春期教室、メール相談などを行っていますが、一番知って欲しいのは、卒業直前の県内の全高校3年生9,000人に“ユートピアハンドブック”（*写真添付。オリジナルパンフレット）を配布していることです。妊娠や避妊、中絶、性感染症について踏み込んだ内容で生徒からもとても役に立つと好評です。

来春の高校卒業生にも是非届けたいと思っていますが、実は印刷費の目処がたっていません。（社会福祉協議会の補助が、平成21年度で切れてしまいます。）とうてい会費だけでは賅えないため、会員は慣れない寄付金集めに産婦人科を回って営業をしています。

一緒に活動してくださる新会員、賛助会員（寄付）を募っていますので、どうか協力をお願いします。

【お問い合わせ先】

NPO 法人ウイメンズサポートネットワーク事務局

TEL 080-1786-6933 e-mail youtopeer0703@docomo.ne.jp

ユートピアホームページもおすすめです。<http://www.youtopeer.com/>

【2】なるほどボランティア！～県社協からのワンポイントレッスン～ プルタブから車いすへ！ by野添）

最近「プルタブ（アルミ）を集めて送ったら車椅子に変わると聞いたんですけど…」とのご連絡をよくいただきますので、今回は「車椅子になるまで」の変身スタイルについてお話しさせていただきます。

基本的な流れとしては「回収 換金 購入」という形になります。当たり前のようですが、この中の「換金」というのがよくご相談いただくところ

です。プルタブは回収しただけでは車椅子には変わりません。回収し、リサイクル業者などで「kg = 円」で換金してもらい、車椅子購入資金に充てるといことです。

換金して頂けるリサイクル業者などは最寄りの社会福祉協議会などにご相談いただければご紹介できると思いますので、まずはお気軽にご連絡ください。

なお、車椅子1台分に相当するアルミの量は約800kg～（引き取り価格にもよりますが）と言われていています。相当な量が必要ですので、回収後の保管スペースの確保が可能であれば、プルタブだけの回収ではなく、アルミ缶そのものの回収が効果的です。

この活動は、環境美化・エコ活動から福祉活動への変身でもあります。はじめてのボランティアとして取り組んでみてはいかがでしょうか？

【3】プラスワン体験記 ～できることから始めてみませんか？～ まちの鎮守の森 なかよしえん 代表 寺崎 久枝

～赤ちゃんからお年寄りまで、ゆっくり、じっくり、穏やかな時間をともにしたい～

まちの鎮守の森「なかよしえん」では、子どもとお年寄りの多世代交流を行い、家族のような穏やかな雰囲気と温かみの中での育成支援を目的とした事業を展開しています。

内容としては、母親教室や講演会、親子の健康づくりのためのレクリエーションなど、親子が触れ合う時間の大切さを目的としたものや、子育ての悩み相談などが主な活動です。その活動の中で、講演会や講座をきっかけに新たに育児グループの拠点が芽生え、自立した活動を開始したグループもあります。母親自らのグループづくり、他者への支援体制づくりが始まり、地域支援まで発展できるのではないかと今後の活動に期待を寄せています。

これらの活動から参加者の年齢層に幅ができ、特に高齢者の参加が増し、母親への知恵や知識の伝達が楽しくでき、子どもたちへの人的環境の豊かさを感じています。

毎週火・水・木（参加費1回500円）で活動していますので、ぜひ親子で遊びに来てみませんか（夏休み・冬休み・春休みの期間はお休みです）。

佐賀市水ヶ江1丁目5-13 TEL/FAX0952-23-0287
（佐賀県地域福祉振興基金助成事業実施団体）

【4】プラスワン活動拠点のご紹介！～発見！あなたの街の活動拠点～ 唐津市社会福祉協議会ボランティアセンター

佐賀県の北部に位置する唐津市では、ボランティア講座や活動者の登録、また学校などに出向いての福祉教育講座など、年間を通して多彩な活動を進めています。

特にボランティア活動者の育成に力を入れ、絵本の読み聞かせ、セラピューティックケア、災害、傾聴、手話、要約筆記など6つの講座を年間延べ20回以上開催し、地域力の向上に努めています。

唐津市は、平成17年1月に1市6町1村が合併、翌18年1月には、新たに七山村と合併し、現在の唐津市が誕生いたしました。合併により、広域となったボランティアセンターの活動ですが、それぞれの市や町村の特色を活かして、そこに暮らす人たちが豊かにそして元気に生活できるようボランティア活動の振興と人材育成に取り組んでいます。

またボランティアセンターに併せ、唐津市民活動支援センター「ステップ」も併設していますので、市民の方の「ボランティア活動をしたい、市民活動に取り組みたい」など様々なご相談に応じることもできます。

唐津市社会福祉協議会 ボランティアセンター
唐津市二タ子3丁目155-4 市高齢者ふれあい会館りふれ内
TEL0955-70-2336
ホームページ：<http://karatsu-shakyo.or.jp/>

【5】プラスワン@インフォメーション 旬の情報を随時お届けします！！まずは、お気軽に！

CSO・ボランティアに関する情報は『[CSOポータル](#)』をご覧ください。『CSO・ボランティアネット（携帯・PCメールでの有益情報配信）』で、随時このコーナーの情報を配信しています。

そのため、このコーナーは今月で終了予定ですので、助成金やイベント、ボランティア募集等のタイムリーな情報を欲しい方は、ぜひ『CSO・ボランティアネット』への登録をお願いします！

ボランティア募集情報！

『ウイメンズサポートルーム事業 ボランティア募集！』

～ 思春期・女性の健康相談など～

<http://www.cso-portal.net/volunteer/detail.php?id=9>

募集内容

思春期・女性の健康相談などを手伝っていただける方を募集いたします。

日時：毎月第2土曜日 13時～17時

場所：佐賀市立図書館2階

お問い合わせ先

特定非営利活動法人ウイメンズサポートネットワーク

T E L : 080-1786-6933 M A I L : youtopeer0703@mopera.ne.jp

他にも多数ございます！詳細などはCSOポータルへ！

<http://www.cso-portal.net/>

イベント情報！

<http://www.cso-portal.net/event/>

『CSOポータル：<http://www.cso-portal.net/>』絶賛更新中！

～佐賀県で唯一のCSO情報ポータルサイトです～

『CSO・ボランティアネット（携帯・PCメールでの有益情報）』配信中！

～CSO関連の有益情報をタイムリーにお届けいたします～

まずはお気軽に「CSO@123123.tv」に空メールを送ってください。

（ご不明な点などは、男女参画・県民協働課までご連絡ください。）

県では、現在この仕組みをCSO関係者や県民の皆さまに広げていきたいと考えています！まずは是非、自ら「CSO・ボランティアネット」にご登録いただき、お知り合い等にもメール情報を転送して登録をお勧めいただくことで、情報の輪が広がれば幸いです。

また、「CSOポータル」と併せて「みんなでつくるCSO情報網」を目指していますので、皆様からの情報提供・ご意見も“男女参画・県民協働課 (danjo-kenmin@pref.saga.lg.jp)”へどうぞよろしくお願いたします。

本メルマガは当課が名刺交換等をさせて頂いた全ての方々に配信させていただきます。

転載・転送大歓迎！本メールマガジンがご不要な方はお手数ですが、ご連絡をお願いいたします。

... ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~

注) プラスワン運動とは：

仕事や家庭のほかにもうひとつ社会的役割を持ちましょう！と佐賀県が進めている、いわゆるボランティア推進のための運動です。

注) CSOとは：

Civil Society Organizations (市民社会組織) の略で、NPO法人、市民活動・ボランティア団体 (以上志縁組織) に限らず、自治会・町内会、婦人会、老人会、PTA (以上地縁組織) といった組織・団体も含めて、「CSO」と呼称しています。

... ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~

発行責任者

佐賀県男女参画・県民協働課 課長 稲富 正人

編集担当

佐賀県男女参画・県民協働課

CSO活動支援担当主幹 江頭隆幸

CSO活動支援担当 山田健一郎

danjo-kenmin@pref.saga.lg.jp

TEL: 0952 - 25 - 7374

社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会

まちづくり課 野添 大介

TEL: 0952 - 23 - 2145